

# 今さら聞けない楽譜の読み方

作成： a s (アズ) 音楽塾

代表 長見 穩聴

## 作成者のプロフィール



ナガミ ヤストシ

名 前 : 長見 穩聴

生年月日 : 1970年 9月 5日

動物占い : 狼

早稲田大学理工学部建築学科を卒業した異色のミュージシャン。

小学生の時に親友に教えてもらった、「YMO」にハマリ、「いつかバンドを組んでライブをやりたいなー!」と考えるようになる。

中学生になり、当時、大好きだった“The Beatles”の「弾き語り100曲集」を友人と共同で購入し、受験勉強のかたわら、家にあったボロボロのギターで弾き語りの練習を始める。

高1の冬に初めて自腹で楽器を買う。最初の楽器はベース。

高2になると勉強で優等生になることは、きっぱりあきらめ。授業中は、もっぱら寝るか、JAZZ音楽理論の勉強をするようになる。JAZZ音楽理論に興味を持ったのは、高校の頃に大好きだった“The POLICE”の影響。Sting みたいにカッコいい曲を書いて、自分達でカッコ良く演奏できるようになりたいと思ったため。

高3で、やっと念願のバンドを結成。しかも、この時のドラムが元ブンブンサテライツのサポートドラマーだった、平井直樹氏だった。彼から音楽に対する情熱を注入された。また、この年は平井氏から受け継いで学院際の学JAM 委員長にも就任。いろいろと改革を実行して、後で後輩からも感謝してもらえた。

大学では、JAZZ研の名門“Swing and Jazz Club”に入部。ここで知り合った友人達が、未だに私の音楽活動を時々サポートしてくれています。

98年に、JAZZ研の同期である(当時は)日本人若手No.1のサキソフォニスト=大田剣を迎え入れた伝説のバンド=“D’artie”で青山マンダラでのワンマンライブを決行。

(今では「中年」No.1サキソフォニストか?時が経つのは早い。)

また同年に、アニメ・ルパン 世30周年記念リミックス集“Punch the Monkey”のtr10(須永辰夫氏リミックス)にウッドベーシストとしてレコーディングに参加。

現在は、年数回のライブ活動、音楽塾の運営と小さな音楽イベントのプロデュース等を手掛けています。

まず、図-1を「楽譜」と言います。またこのように、上からピアノ、ギター、ベース、ドラムと多くの楽器の楽譜が記載されたものを、「バンドスコア」と呼びます。

また、ト音記号の右横に  $\frac{4}{4}$  と書かれていますが、これは4分の4拍子であることを表しています。表記法は「C<sup>4</sup>」と書く場合もあります。

ト音記号。最初の1・2小節のPiano・Rのオタマジャクシが「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」(英語表記だとC・D・E・F・G・A・B・C)を表しています。

ヘ音記号。次の3・4小節のPiano・Lのオタマジャクシが「ド・シ・ラ・ソ・ファ・ミ・レ・ド」(英語表記だとC・B・A・G・F・E・D・C)を表しています。従ってト音記号より低い音を表しています。

小節(図のように縦棒と縦棒で区切られた区間が1小節)

4分音符(頭が黒いオタマジャクシ)。1拍を表す。

8分音符(「ひれ」が付いたオタマジャクシ。連続する場合はオタマジャクシ同士を線で結ぶ。音の長さは4分音符の半分)。

3連符(8分音符を3つ束ねて上(下)に"3"と表記する。オタマジャクシ3つで4分音符と同じ長さなので、4分音符の $\frac{1}{3}$ の長さとなる)。

2拍3連(4分音符を3つ束ねた上(下)を括弧でくくって"3"と付記する。

オタマジャクシ3つで2分音符と同じ長さで、2拍の $\frac{1}{3}$ の長さとなる)。

16分音符(「ひれ」が2本付いたオタマジャクシ。連続する場合はオタマジャクシ同士を二重線で結ぶ。音の長さは8分音符の半分)。

2分音符(頭が白いオタマジャクシ。長さは4分音符2つ分)。

全音符(白丸のみ。長さは4分音符4つ分)。

付点(オタマジャクシの頭の右隣に"."を書く。意味はオタマジャクシの半分の長さ分、音を延長する。以下の休符の横に記入しても有効)。

全休符(4拍休み)。

2分休符(2拍休み)。

4分休符(1拍休み)。

8分休符(8分音符分休み)。

16分休符(16分音符分休み)。

フラット(同一五線譜上音程を半音下げる。尚、この様にト音記号やヘ音記号の右横に書かれた場合は「調号」と言って曲のキー(調)を表す)。

シャープ(同一五線譜上音程を半音上げる。尚、この様にト音記号やヘ音記号の右横に書かれた場合は「調号」と言って曲のキー(調)を表す)。

オクターブ(上に記された場合、オクターブ上で演奏する。下に記された場合は、オクターブ下で演奏する)。

フェルマータ(音を適宜、伸ばす)。曲の最後などに良く使われる。

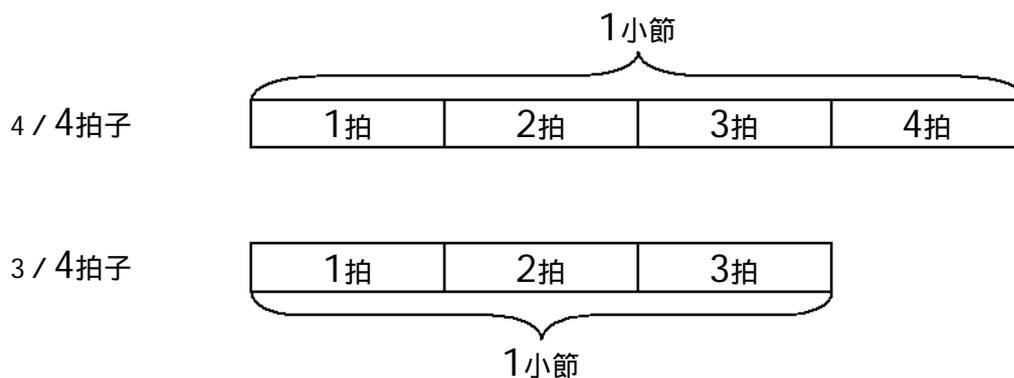
图-1

Musical score for Piano, Guitar, Bass, and Drums in 4/4 time. The score consists of five staves. The Piano part is split into Right (R) and Left (L) hands. The Guitar is in C major, and the Bass is also in C major. The Drums part shows a consistent rhythmic pattern. A red circle highlights a specific note in the Bass line in the first measure.

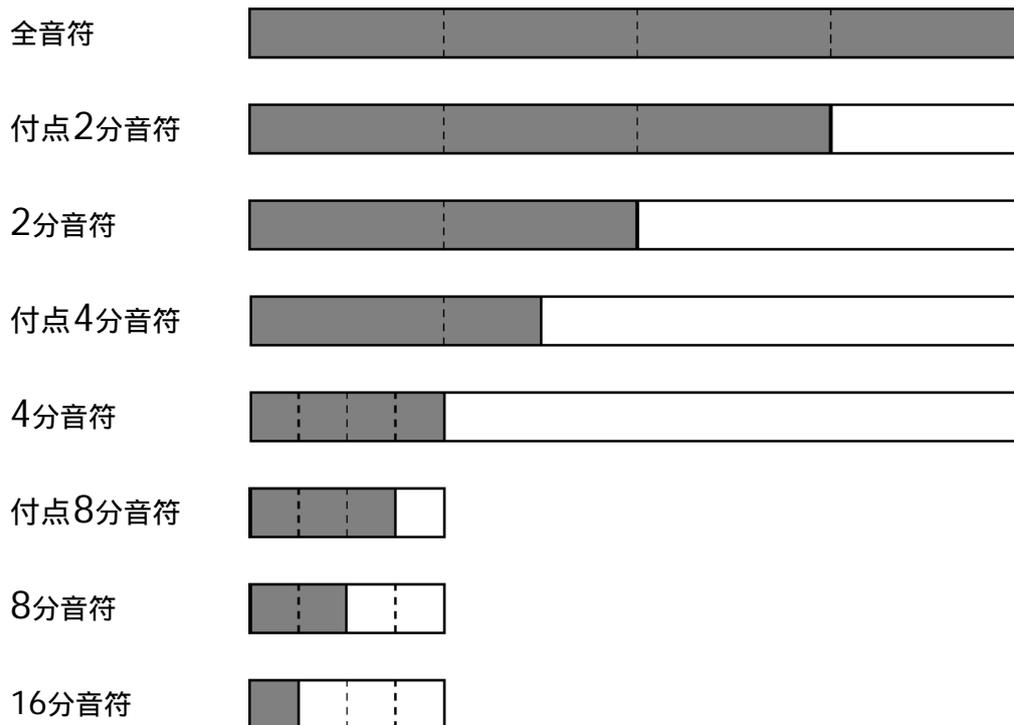
Musical score for Piano, Guitar, Bass, and Drums in 4/4 time, featuring triplets. The score consists of five staves. The Piano part is split into Right (R) and Left (L) hands. The Guitar and Bass parts feature extensive triplet patterns. The Drums part shows a consistent rhythmic pattern.

Musical score for Piano, Guitar, Bass, and Drums in 4/4 time, featuring a key signature change. The score consists of five staves. The Piano part is split into Right (R) and Left (L) hands. The Guitar and Bass parts feature a key signature change from C major to D major. The Drums part shows a consistent rhythmic pattern. Red arrows highlight specific notes in the Bass line.

## 拍子と拍・音符の関係



以下、塗りつぶし部分が音の長さを表します。



\* 稀に、32分音符や付点16分音符が使われる曲もあります（クラシックでは良く使われますが）。但し、上記まで理解できれば、これらの音の長さも把握できると思います。（32分音符は、16分音符の半分の長さです。）

この教材を読まれた方へ

少しでも楽器をやっている人は別ですが、意外にも音楽が好きな方々でも、この教材で説明した楽譜（音符）の読み方を知らない人が多いものです。

私達は、恐らく小学～中学校の音楽の授業で習っている筈ですが、当時は学校の授業はつまらないものだと思い込んでいたから、覚えていない訳です。

逆に、「ここまでは知っている。」と簡単すぎると感じた方は、後半の講座の受講だけで十分かもしれません。

また、この教材が役に立ったという方は引き続き楽譜の読み方も読んでみて下さい！

楽譜の読み方では、楽譜の読み方の中でも「読み進め方」を説明します。

（ここまでは単語の解説。 は文法の解説とでも言えるでしょうか。）

そして、まで読んで頂いた方は楽譜の読み書きが出来るようになります。その時から、楽器が出来ない人でも「作曲」にチャレンジ出来るスタート地点に立つこととなります。

では、念願の「作曲家デビュー」を目指して、一緒にガンバりましょう